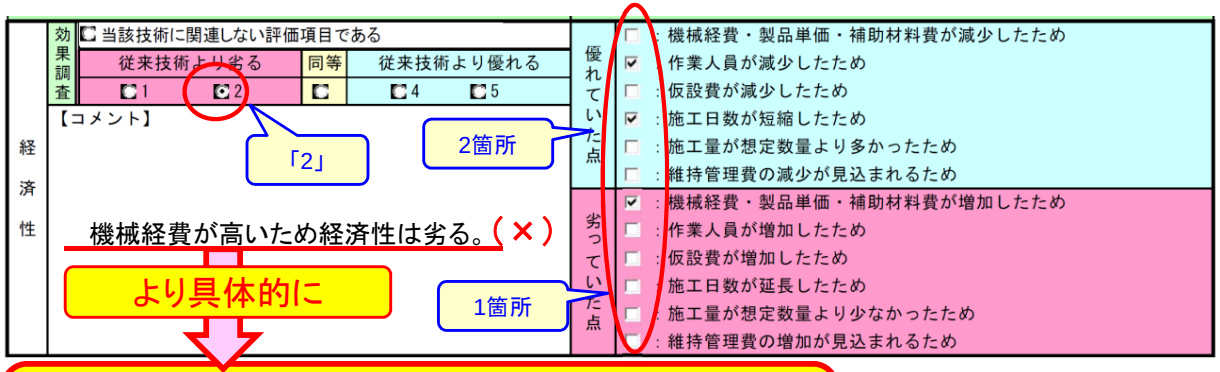
Ⅱ:『調査項目のコメント』を特に重視すべき具体的な事例

以下のような事例では、**修正依頼やヒアリングをお願いする**場合があります。

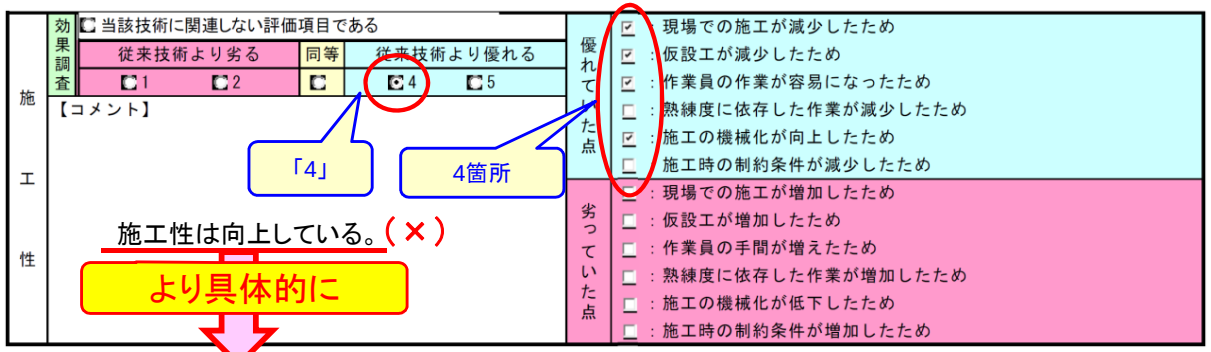
◆調査の視点では、(優れていた点:2)＞(劣っていた点:1)であるが、効果調査は「2」でありコメントもマイナス評価となっている。



例:作業人員と施工日数は削減できたものの、機械経費が非常に高くなったため、総合的には従来技術と比較して、経済性は劣る。(○)

コメントが簡素であるために、調査の視点の重みが判断できません。より具体的なコメントをお願いします。

◆調査の視点では、優れていた点に多く(4箇所)のチェックが付いているが、効果調査は「4」となっている



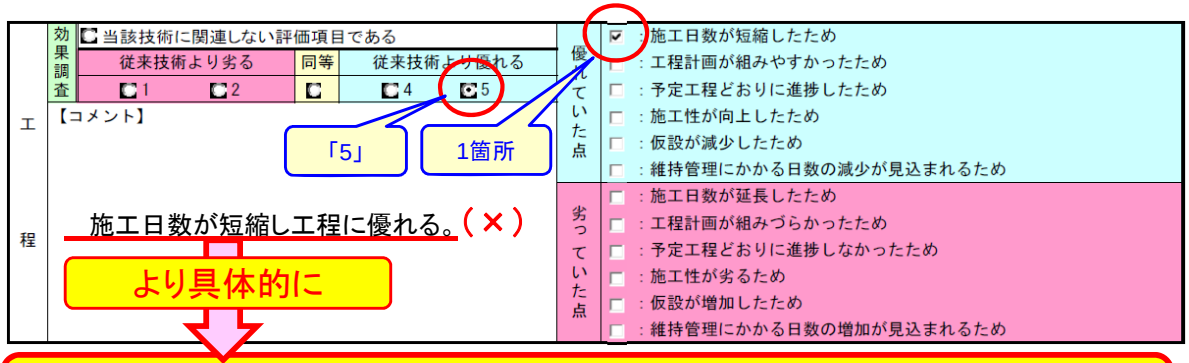
例:仮設の減少により現場での施工が減少し、さらに機械化により作業員の作業が容易になったことから、従来技術と比較して施工性は**やや**優れている。(○)

多くの項目で優れているが、それぞれの項目の重みは僅かであるために、総合的には「4」となったことが伝わるようなコメントをお願いします。

Ⅱ:『調査項目のコメント』を特に重視すべき具体的な事例

以下のような事例では、**修正依頼やヒアリングをお願いする**場合があります。

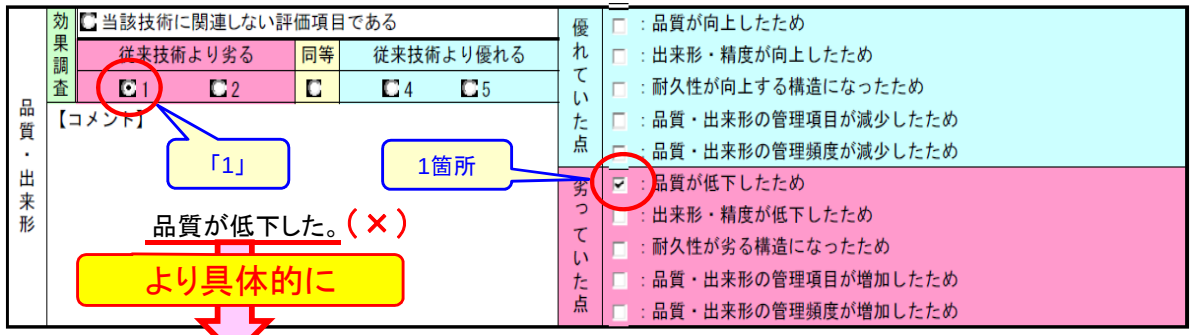
◆調査の視点では、優れていた点のチェックが1箇所であるが、効果調査は「5」となっている



例:工程は、地盤改良に要する日数が、当初8日間予定していた日程が4日間(1／2)になり、施工日数を短縮できるという理由で非常に優れていた。(○)

優れていた点が一つで、効果調査が「5」となった具体的なコメントをお願いします。

◆調査の視点では、劣っていた点のチェックが1箇所であるが、効果調査は「1」となっている



例:現場打ちコンクリートであり、管理項目・頻度が増加し、施工不良等による品質の低下が懸念されたため、品質・出来形に非常に劣っていた。(○)

劣っていた点が一つで効果調査が「1」となった具体的なコメントをお願いします。